

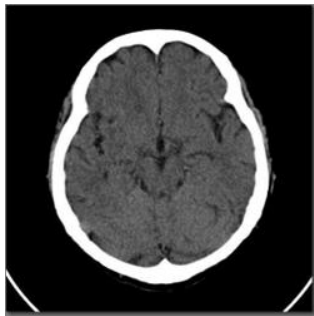
CT 検査とは

CT?

CTとは、コンピューター断層撮影法(Computed Tomography)の略です。体の周りを回転しながらX線を照射して、身体を通過したX線量のデータを収集し、コンピューターで処理することによって、身体内部の臓器などを画像化する検査です。身体の高切り像や立体的な3D画像を作成することもできます。

X線は、身体の高組織や臓器によって、X線の通過しやすさ(透過性)が異なります。肺のように空気がたくさんあるところはX線が通過しやすく黒く見えて、骨のような堅い組織はX線が通過しにくいので白く見えます。

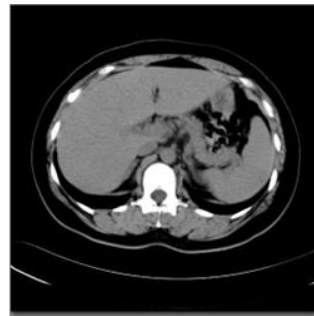
また、このふたつの中間の透過性を示す水や筋肉などは灰色に見えます。X線の透過性が病変と正常部位とで異なることを利用して、病変を描出しています。



頭部



胸部(肺)



腹部

実際の検査

■どのようにして検査するのですか？

検査の際には、CT装置の寝台に仰向けに寝ていただき、ガントリーという大きな円筒状の穴の中に寝台ごと移動させて撮影を行います。

ガントリーの中では、X線管球(X線を出すところ)と検出器(X線のデータを受け取る場所)が向かい合わせで配置されており、これが身体の高周りをぐるぐる回りながらデータをとっていきます

■検査時間はどのくらい？

検査時間は撮影部位によっても異なりますが、約5～15分程度です。

■検査時に注意すること

検査部位によっては、ピアス、ネックレスなどが検査の妨げとなることがあるので、検査当日は、なるべくアクセサリーなどは控えていただき、楽な服装でお願いします。

また、金具のついた下着や衣服を着用しているときには、検査着に着替えていただく場合がありますので、ご了承ください。

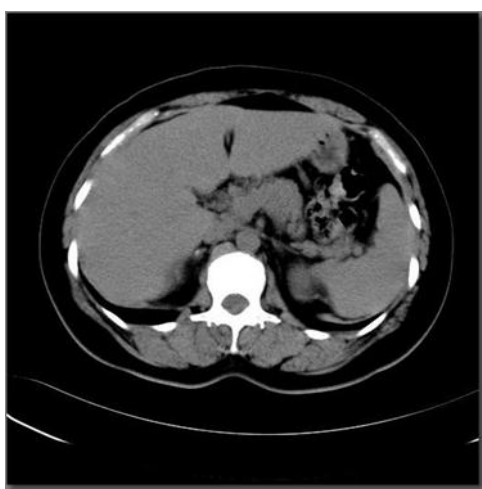
撮影を行なっているときに身体を動かすと、きちんとしたデータが取れずきれいな画像にならないので、検査中は身体を動かさないようにお願いします。また首から骨盤の間の部位を撮

影時には息を止めていただきます、しっかりと息止めをして頂くことで診断しやすい画像を撮影することができます。

造影 CT なぜ造影剤を使用するの？

CT検査で使用される造影剤は「ヨード造影剤」と呼ばれるものです。病気や検査部位によっては造影剤を注射することにより、血管、臓器、病気の部分の様子が分かりやすくなり、より正確な診断を行うことができます。

造影剤を静脈注射して撮影するCT検査のことを「造影CT検査」、造影剤を使わないCT検査のことを「単純CT検査」といいます。



《腹部単純 CT》



《腹部造影 CT》

※同じ部位でも造影剤が流れている血管や、吸収された臓器は白く写ります

造影 CT 検査前の注意事項

※下記は一部です必ず予約時にお渡しする注意書きをお読みください。

■お薬について

服用されているお薬の種類によっては検査を行えない場合があります。普段から服用しているお薬がある場合は、あらかじめ担当医師にご相談・ご確認をお願いします。特に指示のない場合は、通常通り服用していただいて結構です。

■食事について

造影検査のために食事をとらないように説明を受けた方は、検査前の食事を摂らないようにしてください(午前中の検査の方は朝食、午後の検査の方は昼食)をとらないようにしてください。もし食事をされていた場合は当院では最終の食事から3時間以上開けてから造影CTを行うことになっておりますのでご注意ください。

水やお茶などの水分は飲んでもいただいても構いませんが、牛乳などの乳製品は控えてください。特に指示のない場合は、通常通りに食事をとっていただいて結構です。

造影剤について

■造影剤

最近の造影剤は、副作用の起こりにくいものが開発され安全な薬ですが、やはり副作用が起こる可能性はあります。現在、主に用いられている造影剤は、「非イオン性造影剤」と呼ばれるもので、副作用の発現率は約3%と言われています。

造影剤を注入すると体が熱く感じるがありますが、時間とともに収まります。

■軽い副作用

吐き気、かゆみ、発疹、くしゃみなどで時間とともに治まるもので、基本的に治療を必要としません。このような副作用が起こる確率は約2%です。

■重い副作用

呼吸困難、血圧低下、意識障害などで、このような副作用は治療が必要で、入院や手術が必要な場合もあります。このような副作用が起こる確率は、約2500人に1人と言われています。



■副作用が起こりやすい方

副作用が起こりやすい要因として、アレルギー歴(特に気管支喘息)、造影剤による副作用歴(過去に造影剤を使用して上記のような副作用が出たことがある)、腎機能障害などがあります。以上の項目に該当するものがある方は、検査前に医師にご相談ください。

検査終了後

食事も普通にとっていただいて結構ですが、刺激の強い食べ物は避けてください。造影CT検査を行った場合は、造影剤のほとんどが1日で尿と一緒に排泄されます。そのため、検査後は水分を十分にとるようにしてください。ただし、アルコールは控えてください。なお、水分制限をされている方は、医師にご相談ください。

検査終了後、遅発性(30分から数日後)に頭痛、発疹、かゆみ、吐き気などの症状が現れることがあります。このような症状はほとんどが一時的なものです。症状がいつまでも続くようでしたら当院までご連絡ください。また、症状が現れた場合は、次回受診の際に医師にお知らせください。

当院の CT 装置

1. SIEMENS 社製
/ SOMATOM Edge Plus (128 列)



2. SIEMENS 社製
/ NEOTOM Alpha prime (192 列)
フォトンカウンティング CT



2. SIEMENS 社製
/ NEOTOM Alpha pro (128 列 × 2)
2 管球 + フォトンカウンティング CT



4. GE 社製 / Revolution Vibe (256 列)



- 病院棟 2F に SOMATOM Edge Plus NEOTOM Alpha pro および NEOTOM Alpha prime
- 急性医療総合センター 1F に Revolution Vibe